

第17回 恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会

環境整備・PTA・コミスク部会

日時：令和7年3月11日(火) 午後7時から

場所：山岡振興事務所 2階大会議室

1. 部会長あいさつ

2. 協議

課題10 通学路の安全対策に関する事

課題12 看板、案内標識の整備に関する事

3. 連絡事項など

4. 次回の環境部会について

(1) 開催日 令和 年 月 日 () 午後

(2) 会 場

(3) 議 題

恵那市恵那南地区統合中学校準備委員会
環境整備・PTA・コミスク部会
第17回（3月11日）資料

協議事項

- ・課題 No10「通学路の安全対策に関すること」について

関係資料の送付

- ・通学路の課題
- ・恵那市通学路安全推進協議会について
- ・道路の平面図

協議の内容及び進め方

- ・恵那南中学校周辺の道路改良計画の確認を行います。
- ・今まで環境部会を開催した時にも、通学路の安全に関する意見が出ています。
（校舎増改築の協議、スクールバスの協議、その時に出了意見など）
- ・恵那市通学路安全推進協議会で行っている取り組みを紹介します。
- ・意見が出ている通学路の課題の再確認など行い、安全対策を話し合います。

※部会としては、安全対策の具体策を実際に示すことは難しいと思います。
道路管理者（恵那市や岐阜県）が安全対策への取り組みをするには、どのように進めていけば良いか、その方法を示していくという形になります。

協議事項

- ・課題 No12「看板・案内標識の整備に関すること」について

協議の内容及び進め方

- ・看板のことを課題項目としていますが、看板や標識などは現時点でも、「山岡中学校」という看板が数か所あるだけです。
- ・「恵那南中学校」の表示に変更することになります。

※部会としては、看板・案内標識について、どうすべきかを示すという形になります。

通学路の課題（今まで部会で出ている意見など）

1. 学校周辺の道路を、より便利で安全な道路にして欲しい。
2. 山岡健康プラザ横の十字交差点は、車の一旦停止をしっかりと行う箇所である。
3. スクールバスのルートには、冬季に凍結の恐れがある道路箇所が想定されるため、安全な通行が必要。
4. スクールバスのバス停には、待ち場スペースが狭い箇所があり、生徒の乗り降りの時に注意が必要である。
5. スクールバスを降りた後で、冬季は暗くなる箇所があるため、街路灯の設置が考えられる。
6. 道路全般に関して・・・
狭い箇所や見通しが悪い箇所、曲がりくねった箇所などがあることから、安全な通行ができるようにして欲しい。
7. スクールバス通学にならない山岡の生徒は、自転車通学と徒歩通学になる。
安全に通学できるような道路であって欲しい。

「恵那市通学路安全推進協議会」について

通学路の安全については、関係機関が対策を講じる取り組みを行っています。

【事務局】

- ・教育委員会学校教育課

【どのような協議会か】

- ・教育委員会をはじめ小中学校の関係者、国、県、市の道路管理者、警察署、市の交通安全担当課等の関係機関で構成されている協議会で、小中学校の通学路について継続的に安全対策を講じるために毎年開催している。

【どのように課題となる通学路を把握しているか】

- ・各小中学校は、6月頃までに通学路の点検とPTAと連携した情報収集により、安全対策が必要な個所の把握を行っている。

【協議の内容は】

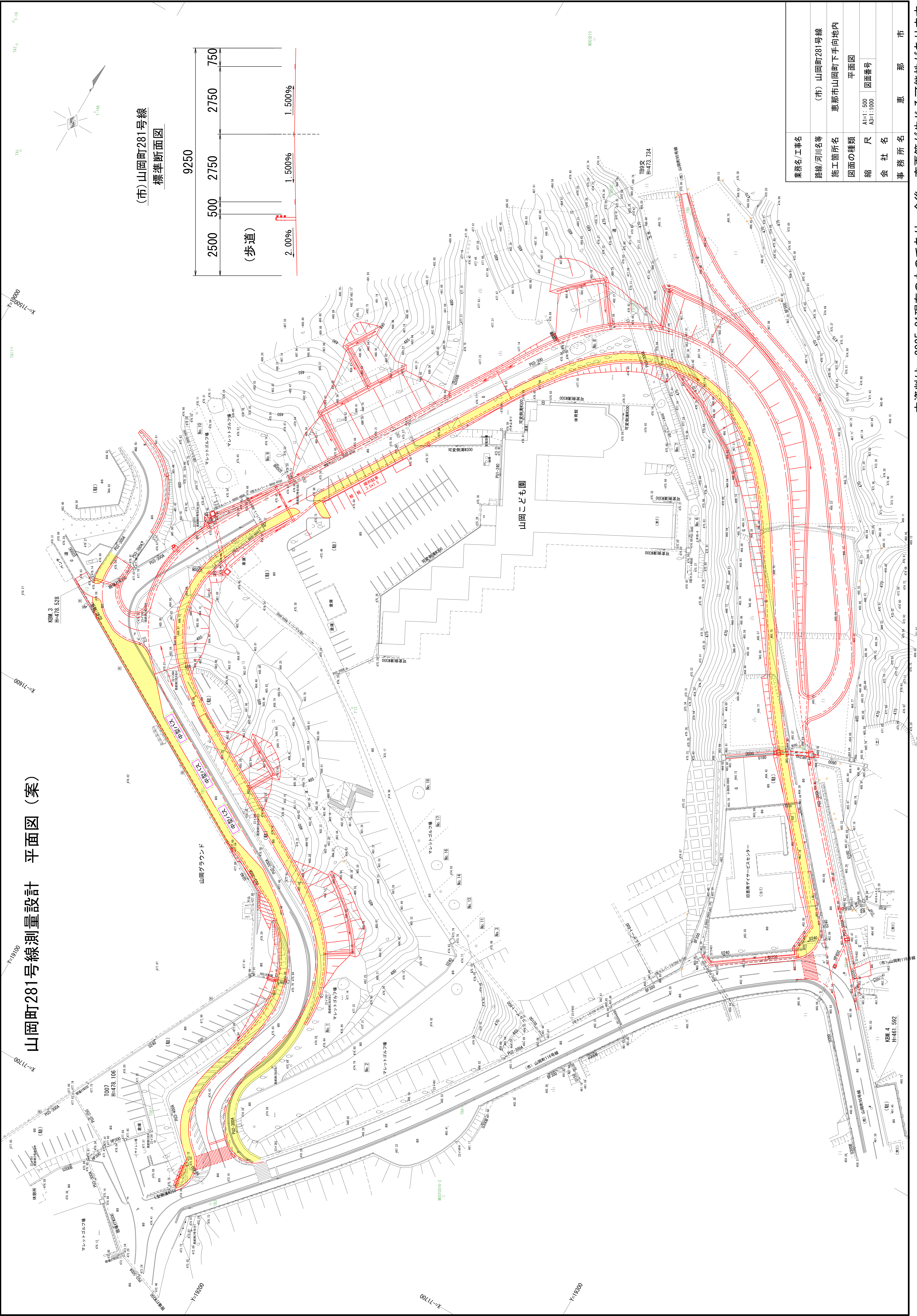
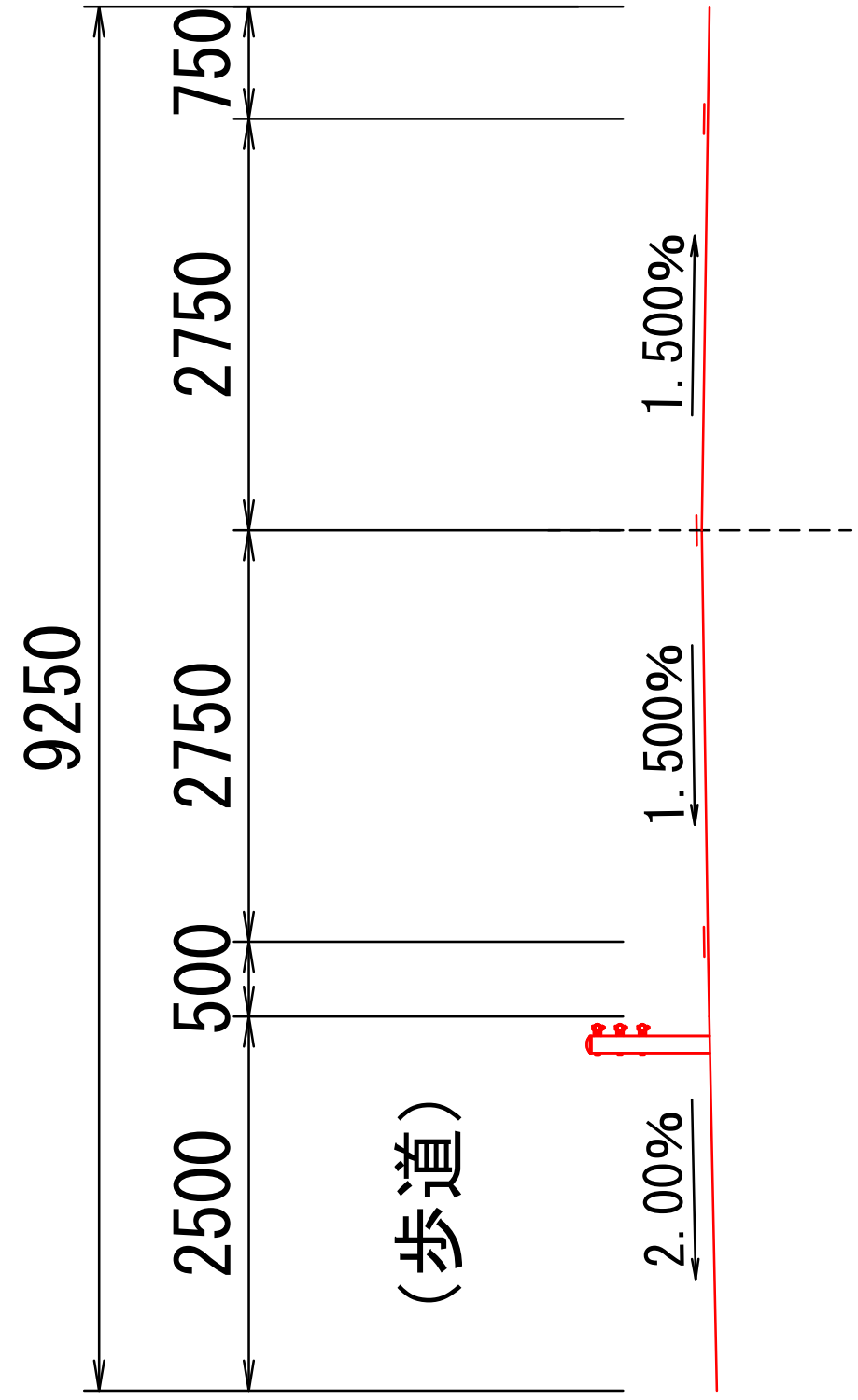
- ・協議会（7月頃）では、全ての小中学校から報告を受け、通学上の安全対策が必要な個所と優先的に道路整備等が望まれる個所の情報共有を行い、関係機関において安全対策を講じるための協議を実施します。

【どのように対策を講じているか】

- ・具体的な安全対策の実施に向け、危険度や緊急性の高いものを中心としながら優先的に講じる個所を選定し、その後、道路管理者、警察署等の関係者が直接確認する合同点検を実施します。
- ・この点検で、ガードレールやグリーンベルト（道路上に緑色のラインを標示）など安全対策整備を具体的に実施する個所、カーブミラーや注意喚起を促す看板等の設置を行う箇所、歩道の設置など道路改良が必要な個所、横断歩道設置への協議に取り組む個所など、国、県、市の道路管理者及び警察署が具体的な対策を講じることに結びついている。

山岡町281号線測量設計 平面図 (案)

(市) 山岡町281号線
標準断面図



業務名/工事名	(市) 山岡町281号線		
路線/河川名等	恵那市山岡町下手向地内		
施工箇所名	平面図		
図面の種類	縮尺		
縮尺	A1=1: 500 A3=1:1000	図面番号	
会社名			
事務所名	恵那市		

本資料は、2025.01現在のものであり、今後、変更等が生じる可能性があります。